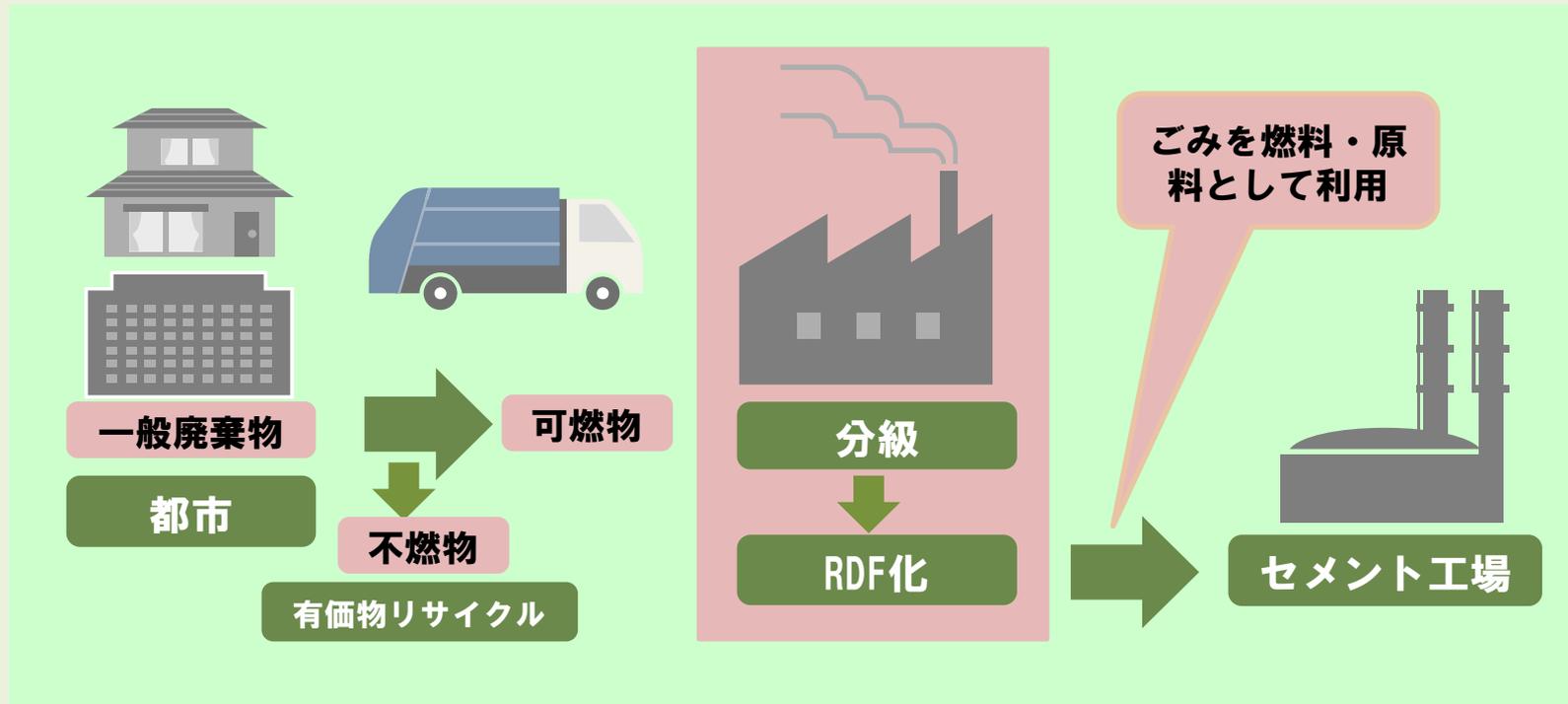


採択事業の紹介

タイ王国北部地域におけるセメント工場を核とした一般廃棄物及び産業廃棄物の3Rシステムの構築 リマテック株式会社（平成24年度、平成25年度）

<目指している事業>

- タイの都市部で発生した一般廃棄物を湿式分級機によって有機物と可燃固形物（プラスチック類等）に分別し、可燃固形物をRDF化し、セメント製造（サイアムセメントグループ）の代替燃料として売却する事業。



採択事業の紹介

＜実現可能性調査での成果＞

湿式分級装置を用いた実証試験

- タイにおいて都市ごみをセメントの原燃料として再資源化するために鍵となる技術が選別技術。本事業では、選別技術として日本の湿式分級機の導入に向けた実証試験を実施。
- タイのサラブリー県の Ban Mo の都市ごみおよび掘り起しごみを対象として、日本の湿式分級装置を用いた実証試験を実施。試験の結果、本装置により都市ごみおよび掘り起しごみに含まれるプラスチックを90%以上で回収できることを実証。

事業実現性の検討

- 現地パートナーの提案により、都市ごみが大量に収集されているバンコク都の On Nut を事業対象地として、事業性、環境負荷削減効果を評価。
- 733t/d の都市ごみから350t/d のRDFを製造した場合、初年度の売り上げ約3億4千万円程度の事業規模、IRR=14.0%、投資回収期間は6年4か月。サイアムセメントグループの投資基準に適合する水準。
- 温室効果ガス排出削減量24万t-CO₂/年、化石燃料（石炭）消費削減量12万t-石炭/年、合計埋立削減量23 万wet-t/年になると予測

＜実現可能性調査後の状況＞

- 本事業の事業化に向けて、リマテックホールディングスのタイ現地法人与サイアムセメント会社が合併企業（Green Conservation Solutions; GCS）を設立。
- 2016年夏には、バンコク都の On Nut で飼料化リサイクルの不適合物を対象とした湿式分級機の商用スケールでの稼働を開始する予定
- 上記の事業の発展として、湿式分級機によるプラスチック選別とRDF化だけでなく、選別で残った有機廃棄物のバイオガス化による発電技術・残渣の炭化技術による燃料化をパッケージ化した都市ごみリサイクル事業スキームのF Sを平成27年からN E D Oの支援事業（国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業）で実施。